

命を守るために 災害が起こる前に できること



備蓄品や備えの例

備蓄品の確認

(1週間分程度の用意が目安)

- ☐ 飲料水 (1人当たり1日3リットル)
- ☐ 医薬品 (常時服用する薬、傷薬、かぜ薬など)
- ☐ 簡易トイレ
- ☐ 歯ブラシ、入れ歯 (洗浄剤)
- ☐ 懐中電灯と予備の電池
- ☐ 予備のメガネ、メガネ拭き
- ☐ 食品 (缶詰、レトルト食品など)
- ☐ 卓上コンロ (予備のガスボンベ)
- ☐ 携帯電話用バッテリー (充電器)

家の安全確認 地震への備え

- ☐ 家具が転倒しないように対策をしている
- ☐ 逃げ道となる通路や出入り口付近に物を置かないようにしている
- ☐ 寝室にスリッパや靴、懐中電灯を常備している
- ☐ 住宅用火災警報器を設置している
- ☐ 家庭用消火器を設置している

家の安全確認 風水害への備え

- ☐ 瓦のずれやトタンのめくれを確認している
- ☐ 物干しざおなど飛散の危険が高いものは室内へ入れている
- ☐ 気象情報を日頃からよく確認している
- ☐ 家のまわりの地形や環境をよく知っている
- ☐ 地域の過去の災害体験などを知っている

災害をイメージする

近年、全国各地で地震や台

災害は、いつ起こるか分かりません。大切な家族を災害から守るために、年1回、「家族防災会議」を開き、家族全員で「もしものとき」に備えて、防災について話し合ってみましょう。

普段からの準備が、いざというときの力になります。

問い合わせは、安全安心課防災係(☎内線415)へ。

風、局地的大雨などでの洪水被害など、自然災害が多く発生しています。

「もしものとき」自分の身に何が起こるのか、周りがどうなってしまうのか、災害をイメージしましょう。

その際、災害が地震なのか大雨なのか、発生時間は昼なのか夜なのか、その状況を具体的に想定して考えると、より深い話し合いができるかもしれません。

電気・水道・ガスが使えない状態を想定して、備蓄食料を実際に食べてみるなど、災害をイメージし、一定時間を過ごしてみるのも良いでしょう。

防災チェックシートを活用する

災害が起こったとき、必要なものは何か、防災チェックシートで確認しましょう。

防災チェックシートは、市役所3階の安全安心課、新里・黒保根支所、各公民館のほか市ホームページにもあります。

左表の項目は、一般的な備蓄品や備えの例です。

乳幼児や要介護者、ペットなど、それぞれの事情に合わせて普段から必要なものを備えておくことが大切です。わが家の備えについて確認しましょう。

避難行動要支援者 名簿作成のための調査

市では、台風や大雨、地震などの大きな災害が起こったときに、家族の援助が受けられない人や自分で避難することとが難しい人を災害時避難行動要支援者として事前に登録し、いざというときに地域で援助を受けられる体制作りを進めています。

対象は、在宅の人で、次のいずれかに該当する人です。

- ① 65歳以上の一人暮らしの人
- ② 介護保険の認定区分が要介

護度3・4・5の人
③ 身体障害者手帳1級・2級
④ 療育手帳A判定の18歳以上の
⑤ その他、援助を必要とする
人(①から④に準ずる人で災害時には特に支援が必要なもの)

平成29年3月1日から平成30年2月28日までに、新たに
①から④のいずれかに該当した人や過去に調査対象となつ

た人で、現在も①から④のいずれかに該当している人(既に名簿に登録された人を含む)については、登録希望確認の封書を3月下旬から4月上旬にかけて順次郵送します。※希望しない人は同封の返信を返信してください。

登録を希望しない人以外には、5月以降に各地区の民生委員が訪問調査を行います。また、⑤に該当する人で登録を希望する人は、市役所1階の福祉課および新里・黒保根支所市民生活課で受け付けます。

問い合わせは、福祉課社会福祉係(☎内線271)へ。

Ｊアラートは、大雨や地震、弾道ミサイル情報などの緊急情報を国が送信するシステムで、市町村の防災行政無線や防災ラジオのほか、携帯電話会社による緊急速報メール(エリアメール)などが連動して瞬時に情報を伝達します。

Ｊアラート 全国一斉情報伝達訓練

期日 3月14日(水)
時間 午前11時から
放送内容
● 新里・黒保根町の防災行政無線

「こちらは、ぼうさい いざと(くろほね)です。」
「これは、Ｊアラートのテストです。」(3回繰り返し)

問い合わせは、安全安心課防災係(☎内線415)へ。

写真展を開催します

間もなく、東日本大震災から7年が経過します。被災者、被災地への思いを忘れないため、「3.11大震災の記憶～東日本大震災から7年復興への歩み～」と題した写真展を開催します。

現在、市では、岩手県宮古市、宮城県石巻市、福島県南相馬市に計4人の職員を派遣し、復旧復興支援を行っています。

今回は、石巻市職員と派遣の桐生市職員が撮影した、被災直後の石巻市内の様子や復興へ向かっている現在の石巻市の様子を展示します。併せて、市に未曾有の被害をもたらしたカスリーン台風の当時の被災状況の写真などを展示します。

期間＝3月9日(金)～15日(木)※土・日曜日を除く

時間＝午前8時30分～午後5時15分

場所＝市役所玄関ロビー

問い合わせは、安全安心課防災係(☎内線415)へ。

緊急告知FMラジオ (防災ラジオ)

定期試験放送が月2回に

毎月1回(第4金曜日)の防災ラジオ試験放送が、4月から毎月2回になります。第2金曜日と第4水曜日の午後2時からです。

問い合わせは、安全安心課防災係(☎内線415)へ。

3月11日(日)に臨時試験放送を実施

FM桐生「3.11防災特別番組」が3月11日(日)午後2時から3時まで放送され、番組内で試験放送を実施します。試験放送時間は、午後2時50分から2分程度です。

問い合わせは、FM桐生(☎22-3339)へ。

防災ラジオの電池寿命にご注意を

内蔵の充電式単三電池の寿命は、ラジオを使い始めてから概ね2・3年です。寿命となった場合は同規格の電池を購入のうえ交換してください。ACアダプターが破損してしまった場合も、同規格のものを購入のうえ交換してください。故障と思われる前に電池とACアダプターを確認してみましょう。

ACアダプターはFM桐生でも購入できます。在庫に限りがあるため事前にお問い合わせください。

問い合わせは、安全安心課防災係(☎内線415)へ。

■ FM桐生ユーザーサポートデスク(☎20-7557)

受付時間＝午前10時～正午、午後1時～4時(土、日、祝日を除く)